Juwa News
十和かわら版
十和運送グループ
☆発行☆
総務人事部
☆企画編集☆
業務部

ISO 9001:2000/2008 定期審査及び移行審査をクリアー

水海道支店

平成22年2月17日～18日　水海道支店では、JQA（社団法人日本品質保証機構）の定期審査及び移行審査を受け、無事にクリアーできました。
石野審査員からは「ISOとは何か」について様々なお話を伺いながら審査を進めて頂きました。
その中でも特に分かりやすい基本5項目は下記の通りです。

① 社内の役割分担をはっきりさせましょう。
② 仕事の手順･ルール・基準を決めましょう。
③ 決めたとおりに忠実に実施しましょう。
④ やったことは記録に残しましょう。
⑤ 自分たち自身でしっかり是正･改善をしましょう。

要するに「あたり前のことをあたり前に着実に確実に行う」ことが大切とのことでした。

JQA認定ISO9001
石野範明主任審査員

☆☆

＜十和運送㈱社内人事異動情報＞

平成22年3月1日付で、下記の通り社内人事異動が発表されました。（敬称略）

・田上貴義　取締役業務本部長　（旧・取締役経営企画室長）
・小野八州男　取締役総務人事部長（旧・総務人事部長）
・岩村圭三　経理財務課長　（旧・総務人事部庶務課長）
・市村　等　相談役　（旧・常務取締役）

☆☆

十和運送での歩み　市村等相談役　一文寄稿

私が当社に入社したのは、つくば科学万博の翌年、昭和６１年９月です。国民的行事の翌年には、自分で計画したわけでは無いが、なぜか転機が伴った。当時わが社は、路線貨物運送事業の譲渡を受けて２年経過した頃です。通称、万博道路や常磐道も部分開通の時代であった。茨城県県西地区は、都内・京浜地区からの大手企業の誘致が推進されておりました。私が担当した谷和原ターミナルでは、５名・５台の規模でした。毎日夕方から、西濃運輸㈱柏支店に集荷した貨物を持込んでおり、自宅に帰るのは、２３時以降であった。まだ若く通勤途上で夢・創造を計画的に実現に向け張り巡らしていたと回顧する。
蓄積された知識・経験と勘で変革させる為、売上確保には貪欲に徹底的にムダの排除をしていった。人との関りを特に大事にした。私のモットーは、「いつも明るく平等に接する」「嘘はつかない」「アンテナと計算は高く」「約束は、絶対守る」「入ったものは出さない」5つの精神を大切にしていった。
23年の間に路線事業部の増設・つくば支店開設・群馬支店・潮来支店開設と当社の成長の一翼を担えた事は、喜びのひとつである。
今後の運送業界は、物流からロジスティクスへと展開され、協働化されていく事が想定されるがやはり人脈を広く信頼を築き普段から不断の現場での行動と蓄積された経験が発揮されるよう心がける事で進歩は、有り得ると確信するものである。
皆さんも潜在能力を発揮し会社から求められる人財になってください。

物流技術管理士の認定資格取得者が誕生しました！

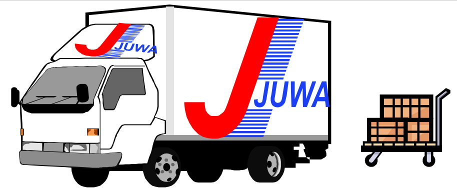
物流技術管理士とは、物流システムを管理するスペシャリストです。物流管理者及び物流技術者として必要な物流の全領域にわたる専門知識とマネジメント技術を、総合的かつ体系的に学ぶことを目的として講座が実施されています。社団法人日本ロジスティクス協会が主催する専門養成講座（トータル21日間）を受講し、筆記と面接による試験に合格すると資格が取得できます。
平成22年3月までに物流技術管理士の認定資格を取得した社員は写真の6名です。今後の活躍がおおいに期待されるところです。

＜物流技術管理士資格取得者名＞

第1事業部
みなみ支店･菊地雄二ｾﾝﾀｰ長、
静岡支店･長塚英二支店長、
水海道支店･中村光良支店長

第4事業部
つくば支店･増田清志事業部長
つくばみらい物流ｾﾝﾀｰ･結束洋ｾﾝﾀｰ長

トーワ流通㈱
小絹ｾﾝﾀｰ･菊田馨ｾﾝﾀｰ長

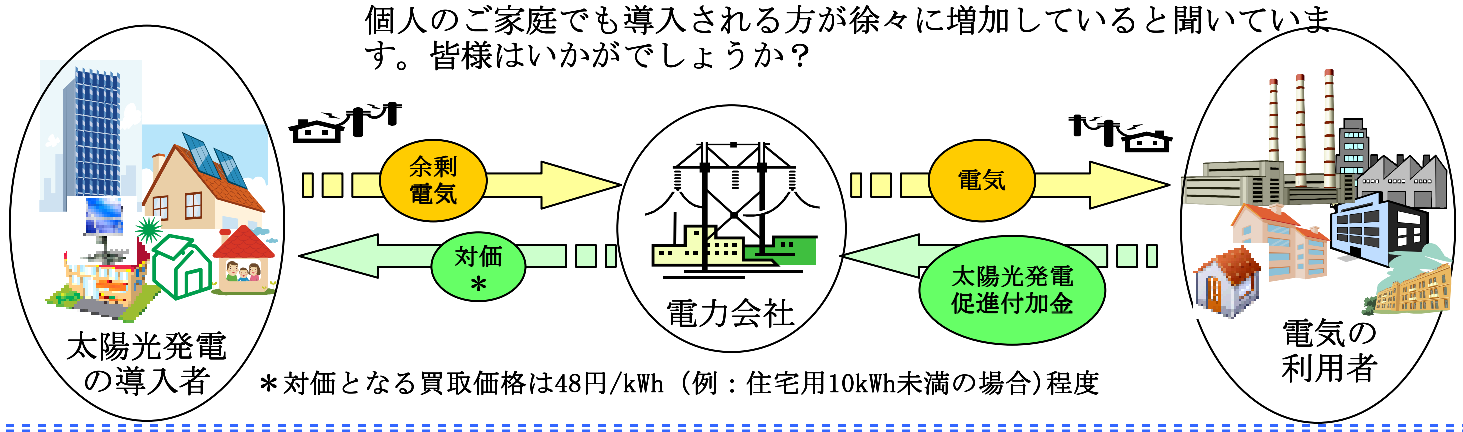


チャレンジ25宣言
私たち十和運送株式会社は、「チャレンジ25キャンペーン」に参加します。
エコドライブ を通じて、地球温暖化防止に努めることを宣言します。
未来が変わる。日本が変える。
チャレンジ25

☆☆☆

皆さんご存知ですか？ 太陽光発電の余剰電力買取制度がスタート

平成21年11月よりエネルギーの有効利用に関する法律が施行され、「太陽光発電の新たな買取制度」が開始されました。この制度は、太陽光発電の普及による低炭素社会の実現を目的とし、太陽光発電システムで作られた電力のうち余剰電力（使われずに余った電力）を、これまでのほぼ2倍程度の価格で電力会社が買い取るというものです。買取に要した費用は「太陽光発電促進付加金（太陽光サーチャージ）」として、電気のすべての使用者が電気料金の一部として負担するという制度です。実質的に費用負担が発生するのは23年度4月以降となりますが、会社全体で節電に努めていくことが大切です。 究極の対策としては、自らが太陽光発電の導入者になることです。
個人のご家庭でも導入される方が徐々に増加していると聞いています。皆様はいかがでしょうか？



＊対価となる買取価格は48円/kWh（例：住宅用10kWh未満の場合)程度